

山口県労福協機関紙 連合山口・労働金庫・こくみん共済coop山口推進本部・県生協連・13地区労福協

やまぐち労福協

vol.196
2023.12月号

一般社団法人 山口県労働者福祉協議会

〒753-0078 山口市緑町3番29号 TEL(083)925-7332 FAX(083)921-1650
Eメール roufuku@orange.ocn.ne.jp 発行人：藤山 毅

第45回福祉メーデー山口県集会

～暮らしを守る労働者自主福祉運動のさらなる推進を～



11月8日(水)、山口市にて第45回福祉メーデー山口県集会を開催しました。この集会は、福祉強化キャンペーンの一環として、労働団体や福祉事業団体との連携を強化し、労働者自主福祉運動を推進して、職場・地域に“共助の輪”を広げることを目的に毎年開催しており、今年も各地区労福協や労働団体・福祉事業団体等から48名が参集しました。

冒頭、連合山口の伊藤正則会長の開会あいさつの後、主催者を代表して中繁会長が「社会経済活動はコロナ禍以前の日常に戻りつつあるが、資源高騰に伴う急激な物価上昇が暮らしに深刻な影響をもたらしている。今こそ、すべての働く仲間の将来にわたる雇用と暮らしの安心・安全をより確かなものにしていかなければならない。そのためにも、共助・公助の機能強化やSDGsの推進など、私たちが求める政策課題への対応や、可処分所得の向上など、暮らしを守るべく労働者自主福祉運動をより積極的に推進し、労福協のさらなる役割発揮につなげたい」とあいさつしました。

基調報告では、初めに藤山専務より福祉強化キャンペーンの具体的な取組内容と2024(令和6)年度対県要請書(P2)について説明しました。

《福祉強化キャンペーンの具体的な取組内容》

- (1) 事業団体の利用促進と共助拡大の推進
- (2) 奨学金に関する取り組み
- (3) 地方自治体への政策要請の実施
- (4) 労福協活動の地域社会への発信

次に中国労働金庫山口支店の三浦明彦支店長が「働く組合員の理想の生活を実現させるため、住宅・教育・車のローンなどの固定費の支出見直し等に《ろうきん》を利用してほしい」と家計の見直し運動について説明し、組合員一人ひとりへの周知を呼びかけました。



続いて、こくみん共済coop山口推進本部の原田孝志事業推進部長より“こくみんLifeサポート(公式アプリ)”の紹介と12月16日(土)にKDDI維新ホール(山口市小郡)で開催される「こくみん共済誕生40周年記念組合員感謝イベント「ミュージカルかいけつゾロリ」」の告知がありました。

また、山口県生協連の荒瀬泰専務理事からは、山口県ユニセフ協会の取り組みとして、紛争の影響で家族や家を奪われ、空腹や病気苦しめられる人道危機下の子どもたちへ向けた人道基金緊急募金について協力の呼びかけがありました。当日は会場に募金箱を設置し、出席者の皆様に協力をいただきました。



最後に、山口県生協連の岡崎悟会長より「“福祉”は幸せという意味であり、それを満たすには公助・自助だけでなく共助が必要。本集会では、労福協が労働者自主福祉運動を通じて共助の役割を果たすことが大切だと認識できた。私たち労働団体・福祉事業団体が『ともに運動する主体』として明日からの労福協運動にしっかり取り組み、力強く前進できるよう協力し合い支援し合っていこう」とあいさつし、集会を閉じました。

令和6年度対県要請書 提出

11月27日（月）山口県庁にて令和6年度対県要請書を提出しました。提出に際し、中繁会長は「資源高騰に伴う物価上昇が勤労者の家計や暮らしに深刻な影響をもたらしており、格差・貧困の拡大や少子化への影響がこれまで以上に懸念されている。県民の暮らしの安心・安全をより確かなものにしていく環境整備等、支援策の充実・強化が喫緊の課題である」とし、前向きな検討を求めました。

これに対し、小関産業労働部長からは「労働・福祉相談事業（生活あんしんネット）や、若者の職業的自立支援の実施（しゅうなん若者サポートステーション）、障がい者運転免許取得特別支援講座など社会貢献活動に取り組み、着実に成果を挙げられていることに感謝申し上げる。要請は、県全般にわたる幅広い内容であり、県の財政状況は厳しいが、



— 小関産業労働部長へ要請書を手交 —

関係部局に要請内容を伝え、それぞれの所管部局において、予算編成を通じ具体的な検討を進めていく」とする姿勢が示されました。要請書については、2024年2月に回答される予定です。

秋吉台 草刈ボランティア に参加しました!

11月11日（土）、連合山口が毎年実施している“秋吉台草刈ボランティア”に参加しました。春に行われる秋吉台の山焼きの際に火の燃え広がりを防ぐための「火道切り」と呼ばれる草刈り作業で、当日は約720名が集まりました。県労福協は、中国労働金庫・こくみん共済coopと合同でブースを設け、PR活動とともに参加者のみなさまへ飲み物や飴を配りました。



地域の過疎・高齢化で人手不足の中、連合山口が地域に根差した顔の見える活動として取り組んでいる“火道切り”は今年で20年目を迎えました。秋吉台の山焼きは来年2月に行われる予定です。

【山口県への要請事項】

- I. 制度・施策の改善と充実について
 1. 安心して暮らせる福祉社会の実現
 - (1) 物価高騰に対する生活支援
 - (2) 結婚・出産・子育て環境の充実
 - (3) こどもの貧困・児童虐待防止対策の推進
 - (4) 医療・介護提供体制の充実
 - (5) 奨学金返還支援制度の拡充
 - (6) 居住支援ネットワークの拡充に対する支援
 - (7) 暮らしを守る地域交通の整備
 - (8) 社会保障制度の周知活動の推進
 - (9) 自然災害等に伴う被災者への復興支援体制の強化
 - (10) 労働者福祉金融制度の周知と利用促進の拡大
 2. 誰もが活躍できる地域社会の実現
 - (1) 働きやすい職場環境づくりの推進
 - (2) 若者や女性が希望する魅力ある雇用創出と県内就職・定着支援
 - (3) 高齢者、障がい者が活躍できる環境づくりの推進
 - (4) 男女共同参画・ジェンダー平等の推進
 3. 地方消費者施策の充実
 - (1) 消費生活の安心安全の推進
 - ①消費生活におけるSDGs
 - ②消費者の権利擁護
 - (2) 生活協同組合事業の活動支援
- II. 労働者福祉事業の育成強化について
 1. 労福協事業に対する援助
 - (1) 生活あんしんネット事業
 - (2) しゅうなん若者サポートステーション事業
 - (3) 生活協同組合への指導援助事業

福祉事業団体合同推進全体会議 報告

～若い世代への労働者自主福祉運動の継承に向けて～



7月22日(土)に山口市で開催した会議には地区労福協や福祉事業団体から47名が参加しました。

この会議は、労働者自主福祉運動の歴史・理念とその必要性について理解を深めることを目的に昨年度から開催しており、今年度は労働者自主福祉運動を継承していく人材育成の観点から、20～30歳代の若い世代を中心に参加いただきました。

開会にあたり中繁会長は「なぜ労働組合が労働者自主福祉運動に取り組むのか、なぜろうきん・こくみん共済coopなのか、改めて理解を深めていただき、福祉事業団体との連携や活動を強化していただきたい。そのためにも、皆さんには、発信・けん引役を担っていただき、各地区労福協のさらなる活性化につなげていきたい」と挨拶しました。

基調講演では、中央労福協講師団から高橋均氏(元中央労福協事務局長)より「競争か連帯か～戦後の労働運動と労働者自主福祉運動の理念と歴史を振り返る」をテーマに講演をいただきました。

講演では、①賀川豊彦による貧民救済から始まった協同組合運動、②戦後の食糧・物資不足の中で労働組合と生協が共同でつくった中央労福協、③労働組合が自主的に立ち上げた労働金庫と全労済の生い立ちなど、これまでの歴史を分かりやすく解説されました。



—高橋 均氏—

その上で、「労働団体と福祉事業団体は“ともに運動する主体”であり、困ったときはお互い様という助け合いの精神こそが労働運動と自主福祉運動の原点である」と締めくくられました。

参加者からは「歴史を振り返ることで、労働者自主福祉運動の意義を深く知ることができました」などの感想が寄せられました。

チャリティーゴルフ大会を開催しました

9月23日(土)、秋晴れの下、宇部72カントリークラブにて、県労福協主催のスポーツ行事としてチャリティーゴルフ大会を開催しました。当日は地区労福協・労働金庫・こくみん共済coop・連合山口・生協連より74名(20組)が参加しました。優勝は、美祢地区労福協(NGKエレクトロデバイス労働組合)でした。



—【団体優勝】美祢地区労福協(NGKエレクトロデバイス労働組合)—

当日募ったチャリティー募金74,000円と県労福協負担分を合わせた合計100,000円をフードバンク山口に寄付します。(12月7日(木)地区労福協会長事務局長会議でフードバンク山口の今村代表へ目録を贈呈)。

<団体賞>

順位	団体名	スコア (NET平均)
優勝	美祢地区労福協 (NGKエレクトロデバイス労働組合)	72.1
準優勝	中国労働金庫西部エリア営業本部	74.1
3位	下松地区労福協 (東洋鋼鋳労働組合)	75.1

<個人賞>

順位	氏名・所属	スコア	
		(NET)	(GR)
優勝	八幡成昭 (美祢地区労福協:NGKエレクトロデバイス労働組合)	69.8	83
準優勝	守田和司 (下松地区労福協:東洋鋼鋳労働組合)	70.8	84
3位	坂本達哉 (美祢地区労福協:NGKエレクトロデバイス労働組合)	71.2	76

地区労福協だより

周南地区労福協



8月25日(金)に事業団体合同推進会議を開催し、37名が参加しました。周南地区労福協では、労働金庫・こくみん共済coopの育成・強化と商品紹介・暮らしに役立つ情報の提供や、労福協が取り組む勤労者福祉事業について理解を深めるため、毎年開催しています。今年度は中国労働金庫より「家計の見

直しと資産形成について」、こくみん共済coopより「損害補償の考え方について」それぞれ説明がありました。また、パンフレット「お金の上手な使い方」で、労働組合・ろうきん・こくみん共済coopがワンストップで「預金・融資・資産形成・保障」について解決できることを紹介しました。

山口地区労福協

10月15日(日)、山口市仁保でアフリカに送付する支援米の稲刈りボランティアを実施しました。

集まった51名の参加者の中には、手刈りでの稲刈り初体験者も多く、それぞれが慣れない鎌で慎重に稲を刈っていました。また、参加者の子どもたち11名は、支援米に添え

るメッセージカードを作成し、ボランティア活動に携わることの喜びを楽しみながら体験していました。このほか、同じ敷地内のさつまいも畑で芋掘りをし、参加者からは、「最近では田んぼの中に入ったり、農業体験をする機会が少なくなってきたので貴重な経験ができた」との感想が多く寄せられました。



下松地区労福協

スポーツを通じて会員間の交流と活動促進を図るため、6月9日(金)に「下松地区勤労者ボウリング大会」を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症が5類移行になり各制限が解除されたことを受け、76名(19チーム)が参加しました。



開会式に続いて、前年度優勝者が始球式を行いゲームがスタートしました。真剣勝負に挑む人やゲームを楽しむ人など多くの笑顔があふれる大会となりました。結果は、日立製作所労働組合笠戸支部Aチームが団体戦で1位となりました。



長門地区労福協

10月14日(土)に連合山口中部地協長門地区会議と合同で、二位ノ浜海水浴場の清掃活動を実施しました。“地域に顔の見える活動”の一環として行ったこの取り組みには、長門地区労福協から31名が参加し、砂浜のゴミを回収しました。参加者は、地域の美化に貢献するとともに、自然環境に対する意識を高めることができました。



萩・阿武地区労福協

9月1日(金)に長門地区労福協と合同で「2023年度合同推進会議」を開催しました。参加者は萩・阿武地区から27名、長門地区から12名でした。労働者自主福祉運動の推進を図るため、労金「労金理念と労働組合運動」、こくみん共済coop「こくみんLifeサポート」について報告説明があり、参加者は生活に直結したお金と保障の話に熱心に耳を傾けていました。



第33回勤労者文化展が終了しました

11月1日(水)～9日(木)の9日間開催した勤労者文化展には、今回も県内から力作・傑作が集まり、観覧者からも「レベルが高く驚いた」など感嘆のコメントが寄せられました。事前に地域情報誌(山口市・宇部市、美祢市一部地域)で告知し、FMラジオ放送局のエフエム山口の協力で初日の夕刻に番組

内で情報提供されていたこともあり、例年より多くの方が来場されました。来場者から「自分も出品してみたい」「応募資格を知りたい」など電話もいただき、盛況のうちに終了しました。作品募集や出品にご尽力いただいた労働金庫各支店・労働組合の皆様へ感謝申し上げます。今年度の入賞作品は以下のとおりです。

絵画の部

- 最優秀賞 (山口県労福協会会長賞)



「山門」

作者：原田富士子
(津永産婦人科)

- 優秀賞 (中国労働金庫西部エリア営業本部長賞)



「柿」

作者：山崎浩二

- 優秀賞 (こくみん共済coop山口推進本部長賞)



「波止場の夜明」

作者：橋本美保子
(小林耳鼻咽喉科OB)

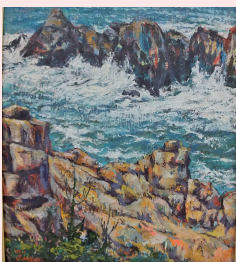
- 優秀賞 (連合山口会長賞)



「長男14才-2023」

作者：坂本直子
(全駐労山口地区本部)

- 優秀賞 (生協連会長賞)



「白波」

作者：水木純子
(下松郵便局)

写真の部

- 最優秀賞 (山口県労福協会会長賞)



「跳ぶ」

作者：一山哲男
(大晃機械工業(株)OB)

- 優秀賞 (中国労働金庫西部エリア営業本部長賞)



「黄落」

作者：本村貞明
(小郡郵便局OB)

- 優秀賞 (こくみん共済coop山口推進本部長賞)



「夏の思い出(1/2)
沖縄・慶良間」

作者：山田博之
(日立製作所労働組合笠戸支部)

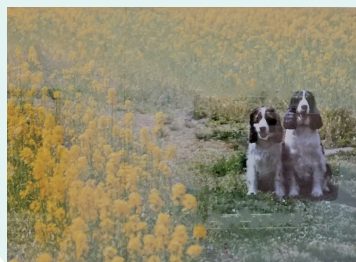
- 優秀賞 (連合山口会長賞)



「レブンアツモリソウ」

作者：大野博文
(萩ろうきん友の会)

- 優秀賞 (生協連会長賞)



「仲良し」

作者：藤本哲男
(日立ハイテクノロジーズOB)